

育成センターだより

3月 第11号
那賀町青少年健全育成センター
2019年3月1日発行

今年度を振り返って

2018年度は子どもにとってどんな1年だったでしょうか。重すぎるランドセルや中学、高校の部活動の負担を減らす取り組み、子ども食堂や里親制度の広がりなど、子どもたちの環境を良くしようという動きがあった一方、虐待や事故で犠牲になった命も少なくありませんでした。



連日のように報じられる児童虐待のニュースに、胸がふさがる思いをした方も多かったと思います。子どもを守るべき親が、どうして逆に幼い子どもを虐げるのか？ 親の愛情と責任はどこに消えたのか？ 近くにいた大人たちはなぜそれを救ってあげられなかったのか？ 事件の詳細が報じられるほどに、子どもたちを救えなかった無念さが残ります。

さて、本年度の本センター内の状況を振り返ってみますと、非行行為等ほとんど見かけることはなく、大きな事故や事件もなく、比較的平穏な日々を過ごせたのではないのでしょうか。このことは、家庭や学校、そして地域や関係機関の皆様のご支援やご協力があったからこそだと痛感しています。そして、何よりも子どもたちが個々を大切に、明るく元気に成長しようとする気持ちが育っているからだと感じました。

今後も、各地域の育成員さん及び学校、警察署等の関係機関と連携を図りながら、子どもたちの健全育成に努めたいと思います。特に3月のこの時期は、卒業式や修了式等を控え、気が緩みがちになります。ご家庭でも十分に子どもたちの行動に目配りしながら、新年度を気持ちよく迎えられるようよろしくご協力をお願いします。

防犯教室(誘拐防止教室)



2月8日(金)きとうこども園と木頭小中学校合同で防犯教室を開催しました。「きとうこども園に不審者が侵入」という想定で不審者対応訓練を那賀署員に協力していただき実施しました。初めての試みでしたが大変有意義な訓練になりました。

次に、講堂で誘拐防止教室を開催しました。当センター職員が不審者役となり、園児や児童に声かけをすることで、その対応の仕方などを確認しました。特に、きとうこども園の園児たちは初めての誘拐防止教室だったのでいい訓練になりました。



最後に、那賀署の方より不審者にどう対応したらいいかなどのお話があり、防犯標語「いかのおすし」を、全校児童で復唱し、「大声を出すことの大切さ」など、不審者への対応をより理解することが出来ました。

第9回「那賀町を愛する心」少年の主張弁論大会

2月17日(日)、町教育委員会主催による第9回「那賀町を愛する心」少年の主張弁論大会が、地域交流センターで開催されました。午前小学生12名、午後中学生12名が、町や地域への思いや願いを、体験を交えながら力強く発表しました。平谷小の佐藤さんは、「大好きな平谷のことを知ってほしい、来てほしい」とみんなで平谷を紹介するパンフレットを作りPRしたことを発表しました。驚敷中の西川君は「小学校の頃は都会で暮らしたいと思っていたが、自然いっぱい的那賀町の素晴らしさを知り、将来お世話になった那賀町で暮らしてお返しをしたい」と発表しました。



入賞者は、来年度のオーストラリア海外研修(中学生)・国内研修(小学生)の候補者に選定されています。

【上位入賞者の結果】

1	平谷小学校	5	佐藤ひより	パンフレットに思いをのせて
2	驚敷小学校	5	手束嵐太	空き家を利用して
3	驚敷小学校	5	山崎苺碧	スポーツで那賀町を元気に
4	驚敷小学校	5	下田陽翔	那賀町をよくするために ぼくにできること
5	相生小学校	5	猪岡姫花	那賀町の将来を考える

1	驚敷中学校	2	西川壮紀	大人になってもこの町で
2	木頭中学校	1	前浦圭哉	明るい町 那賀町
3	驚敷中学校	1	川田大悟	大好きな那賀町
4	驚敷中学校	2	鈴木幸晴	那賀町ならではの産業・林業
5	驚敷中学校	1	西谷ひまり	地域の祭りから学んだこと



【小学校入賞者】



【中学校入賞者】

相談直通ホットラインを開設しました

あらゆる悩み事をお気軽にご相談ください

☎ 090(3184)3646

【みーいんなやさしい(自分の)みりよくをしよう】

秘密は守ります。一人で悩んでも解決しません

那賀町青少年健全育成センター 担当 生杉 いけすぎ

平成31年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」

平成31年2月~5月 展開中!!